



まちづくり活動が盛り上がるよう、市などが行う支援事業や、まちづくり団体、サークルなどを紹介します。
詳細：まちづくり推進課 ☎ 058-383-1997



写真展「鵜沼」～写真・絵画 作品募集～

住みよいまちづくりを考える会が、10月15日から3月31日まで鵜沼空中歩道に展示する、風景写真や絵画を募集します。

対象 ▷子供の部=15歳以下▷一般の部=16歳以上
申込 ▷ウェブ=7月1日～8月15日▷対面=7月12日(土)・13日(日) 10:00～12:00

詳細 メール unuma.minamimachi@gmail.com で、住みよいまちづくりを考える会・館林または、電話でまちづくり推進課



サマーブルーアドベンチャー

Star Ray は、親子で参加できる楽しいイベントなどを通じて、子育てに関する相談や情報共有などが安心してできる場を提供する「かけはしプロジェクト事業」を行っています。その一環として、親子で思いきり水遊びを楽しむ、「サマーブルーアドベンチャー」を開催します。

日時 7月13日(日) 11:00～13:00

場所 総合運動公園キャンプ場(下中屋町)

定員 親子20組程度(申込順)

詳細 参加者氏名と連絡先を、メール kizuna.starray@gmail.com で、Star Ray・江口 ☎ 080-1405-3976



【まちづくり講座・イベントを紹介】

まちづくり団体が、さまざまな講座や、イベントを開催中。詳しくは市ウェブサイトをご覧ください。



夢をカタチに

～このまちで、挑む～

小・中学生の皆さん、どんな夢を持っていますか？このコーナーでは、このまち「各務原」で夢をカタチにするために、起業した方を紹介します。
詳しい内容は、市の移住定住ウェブサイト「OUR FAVORITE KAMIGAHARA」で公開しています。こちらもぜひご覧ください！



Q どんな仕事をしているの？

健康づくりに取り組む方をサポートする、パーソナルトレーナーをしています。食事や運動プランの提案や指導をします。

Q やりがいは何ですか？

トレーニングで体に変化が現れ、前向きな気持ちになったお客様を見ると、とてもうれしく、やりがいを感じます。



パーソナルジム レーヴェ

伊藤 稜 さん

Q 起業したきっかけは？

「自分で事業を始め、多くの人に寄り添いたい」という夢がありました。お客様により場所を紹介いただいたことがきっかけです。

Q これからの目標は？

年代を問わず、もっと多くの方に健康の大切さを広め、ポジティブな生き方をサポートしていきたいです。



トレーニングの指導をする伊藤さん

ウオッチ&市民カメラマンフォトポ

5/8 稲羽東小学校で、茶摘み体験

稲羽東小学校で80年以上続く、伝統行事「茶摘み体験」。全校児童約120人が、学校外周の生け垣の茶摘みを行い、20キロ以上を収穫しました。

6年生の松波穂さんは、「たくさんお茶を摘むことができました。1年生に摘み方を教えることができて、よかったです」と、楽しそうに話していました。



5/28 園児らが、木曽川へ稚鮎を放流

川への感謝と水産業振興を目的として、地元のみどり幼稚園の園児ら83人が、約300キロ分の稚鮎を木曽川へ放流しました。

園児らは「元気だね。大きくなってね」と声をかけながら、ひとりひとりがバケツで稚鮎を放流。その後、ホースで一斉放流し、園児から歓声が上がりました。



5/30 松尾芭蕉石碑の拓本講座

今号は、市民カメラマンの横山廣司さんの写真を紹介します。市ウェブサイトでは、たくさんの写真を公開中。ぜひご覧ください。

初心者を対象に拓本の基礎知識を学び、芭蕉句碑の拓本をするイベントを撮影しました。受講者6名が楽しみながら、すてきな作品を完成させることができました。



第53回ぎふスポーツカーニバル 中学女子砲丸投げ 優勝

つちやま あやか 土山 絢加さん 中央中学校に通う3年生。ピアノを弾くことが大好きで、初めて見る楽譜でも演奏することができます。

姉の存在が、自分を成長させてくれた

4月に開催された、第53回ぎふスポーツカーニバル。砲丸投げの種目で、土山絢加さんが優勝し、大会の最優秀選手に選ばれました。小学2年生で陸上競技を始めた土山さんは、小学5年生のときに、父と砲丸投げ選手の姉の勧めもあり、投てき種目を本格的に始めました。2歳上の姉とは非常に仲良しで、中学1年生のときに、姉妹で東海大会に出場するという目標を掲げました。この目標を達成するためには、「県大会で6位入賞」という高い壁がありました。が、姉妹そろって見事入賞。東海大会への切符を手に入れました。その後、ジュニアオリンピックの県予選会では、姉

とは異なる種目で優勝し、姉妹で全国大会に出場しました。「切磋琢磨できる姉の存在が大きい」と土山さんは語ります。中学2年生になり、さらに経験を重ね、多くの大会で好成績を納めました。そして、最終学年となつて迎えた今大会。「1投目がファールとなり、焦りを感じたが、自信があつた」と土山さんは振り返ります。コーチのアドバイスを受け、投てきリズムを修正し、5投目で自己ベストとなる13m44cmを記録。大会2連覇を達成しました。現在は、オリンピック選手として活躍する夢に向かって、休日にもトレーニングを叶えるため、土山さんは努力を重ねていきます。



市内の輝くみなさんを紹介します

